

第 6 2 0 回 放送番組審議会

議事次第

2 0 2 5 年 7 月 1 5 日 (火)



第 6 2 0 回 放送番組審議会

1. 日 時 2025年7月15日(火) 午後4時30分

2. 開催場所 テレビ岩手6階 大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員長 蛸崎 奈津子

副委員長 岩舘 めぐみ

委員 中野 美知子

委員 岡安 大地

委員 畠山 正

委員 大森 健史

委員 千葉 幸子

欠席委員 2名

委員 菅原 和宏

委員 保 和衛

社側出席者

福士 千恵子 代表取締役社長

池田 学 専務取締役

小形 恵一 取締役報道制作局長兼コンテンツ戦略室長

菊池 健 報道制作局報道部長

事務局

桑島 広実 (執行役員編成局長)

4. 議 題

1. 議題：6月29日（日）25：25～26：20

「NNNドキュメント' 25 漂流POST～逢いたい～」

〈再放送7/5（土） 10：30～11：25〉

2. その他

5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・視聴者からのご意見

6. 意 見

【委員側意見】

○手紙を書くことによって心を落ち着かせ前向きになってゆく姿が長期間にわたって取材され、東日本大震災から14年も経ったことと、この漂流ポストの役割を感じさせた。

○人は大切な人との関係があって生きていられるということを考えさせられたし、支える人間の思いやりが映像によってまとめられていて、殺伐とした世の中でもまだまだ捨てたものではないなと思った。

○ナレーター坂本美雨さんの語りがとてもよかった。前回の番組でナレーターを務めた局のアナウンサーもよかったが、今回坂本さんに変えた理由があれば聞かせていただきたい。

○漂流ポストをドローンで俯瞰撮影することで、ずっと山の中にあると思っていた漂流ポストが海に近いところにあることが分かった。

○手紙を出す側の人たちの気持ちが映像によってあらわになってゆく感覚で、見ていて辛くなった。素晴らしいドキュメンタリーだったと思うが、自分は心の置き所が分からなくなった。

○番組の最初のほうでは過去の映像に現在進行形のナレーションだったので、漂流ポストについて初めて知った人などは今現在の話と認識するのではないかと思った。

○全体を通して映像がとても美しかった。特に、陸前高田の自然の中にたたずむ赤いポストは、話題の移り変わりの中で効果的に映し出され、多彩なポストの表情が「そこで静かに手紙を待つ」という漂流ポストの存在を表現していた。

【局側意見】

○2016年の初回の番組では手紙の差出人の方の心情に重きを置いた構成にしたが、今回は手紙を受け取ってくれる存在の赤川さんも軸とする構成にした。

○漂流ポストが海の近くにあるということを視聴者に意識していただくために、ドローンの俯瞰映像を使用した。

○ナレーターの坂本美雨さんは、ラジオやテレビなどで出演していた声を聴いて、トーンや間の取り方がこの番組に合うと思って依頼した。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

①自社放送 7月24日（木）11:25～11:30「あなたと歩むテレビ岩手」

②テレビ岩手本社での据え置き